

人が集うまちづくり



森 繁男

「自治体としての地域の産業を維持し、また、住民生活の中から出てくるニーズに沿って新たな仕事をつくり出していく、そうした動きを支援していくことが求められています」と書いている。地域内での経済循環（地域内再投資力）について見解を伺う。

市長 持続可能な地域経済を構築する意味では意識していかなければならないと思います。

住宅改修助成制度を

問 地元業者発注を条件として、少額予算で景気向上効果の高い住宅改修助成制度（住宅リフォーム制度）は全国でも評価が高い。助成の仕方も地域の商品券等にすると地域にもお金が回っていく。住宅エコポイントにもつなげて、まさに地域内再投資力になると思うがいかがか。

市長 住宅エコポイントの部分は、地域限定は難しいですが、別枠での対応はいろいろと検討させていただきます。

施設等を考える必要があると思います。

問 グリーンピア岩沼に全国規模の大会ができる大規模なパークゴルフ場を建設してはどうか。

問 他の県やまちから行って見たいと思われるまちづくりで、将来のあるべき姿をどのように考えているか。

市長 人口減少といわれる中で、居住人口より交流人口の視点も大切な時代です。あるべき姿は各人各様ですが、まちの歴史、伝統、文化、風土、食等、特性がありま

すのであらためて再確認をし、来ていただく皆さんにおもてなしの心を発揮できるまちだと思えます。

グリーンピア活用を

問 岩沼市ならではの今後の観光スポットづくりを、どのように考えているか。

市長 岩沼は、お客さんが来るような神社等があります。それらをまちづくりを生かすことで、引き続き努力が必要と思います。一方では新たな観光スポット等、人が集うような施策、

廃業した業者の数は

問 データの中で脱会者が99業者でその内76業者が廃業している。岩沼市全体の廃業者数はどうか。行政は何を感じ取っているか。

市民経済部長 商工会会員以外の方の廃業については、データをとっていません。

市長 このことで岩沼市の商工行政に支障があるとは思いません。全体として商業はどうなるか、個々の商店がどうなるかは大きなポイントだと思いますが、商工政策は個々のお店というより商店街とか、地域全体としてどう取り組むかということだと思います。税の申告で把握は可能だと思いますが、市町村で一人一人の商業者がどうなるかということまで把握することは不可能だと思いますし、そこまでやる必要はないと思います。

商業振興と商店街の活性化



加藤 政勝

問 商工会の組織率が20年度末で49・7%（仙南最下位）と低迷している、何を物語っているか。

市長 推察できるのは、今の景気低迷が最大の原因だと思います。商工会は商工政策の大きなパートナーです。組織率の回復を望んでいます。

岩沼市史編さん事業



渡辺 邦信

問 市史編さん方針や執筆・発刊スケジュールなど、編さん事業についての基本的な計画の策定状況は。

教育長 基本方針は①郷土の歴史を文化遺産として後世に継承する②読みやすいよう分冊にする③ことも市史の編集を行うとしました。組織体制は、編さん委員会、編集専門委員会、編集専門部会とし、事業を進めています。発刊計画は、通史編3巻、特別編3巻、資料編5巻として、平成30年までに全部で11巻の刊行を予定しています。

フォーラム開いては

問 市史編さん過程で市民が参加・参画する場があるか。

教育長 これまで、文化財関係団体に古文書の記録方法をみていただいたり、古文書を読む講座を開設したりしました。今後は、郷土